

西日本夏期講座に 参加して

第41回部落解放・人権西日本夏期講座が、6月9日10日の2日間にわたって高知市で開かれました。

部落問題をはじめ様々な課題をテーマに講演や映画上映が行われた中で、精神科医・香山リカさんの講演を紹介したいと思います。

『話題の事件の背景を探る』と題し、メディアで大きく取り上げられた「黒子のバスケ」脅迫事件や「保育園落ちた。日本死ね」ブログ問題、「ヘイトスピーチ」問題などを取り上げ、「事件の背景」にスポットをあてながら、私たちが抱える社会の病理について話されました。

新しい差別、人権問題などさまざまな問題が山積している現代社会の中で、特に人目を引く事件や現象が起こっています。それらは偶然に発生したものではありません、今の社会や政治の状況と連続したものではないかということでした。

「黒子のバスケ」脅迫事件は、人格差犯罪といわれ、その背景は、イジメ体験や他者から認められた経験のない生い立ちが関係しているとのことでした。被告は、いじめっ子と両親に「見えない手錠」をはめられていたけれど、

事件を起こして初めて「見える手錠」になって安堵したといえます。

様々な事件の問題を考える中で、自分のつらさの原因を身近に見つけ、人のせいにしてそれを攻撃する。何かあればすぐにデマも含めて人格や家族までも激しく攻撃する社会。


犯人が悪いのは明白です。しかし、悪いのは加害者だけなのだろうか？確かに犯した犯罪だけをみれば加害者であるけれど、格差社会の犠牲者・被害者なのでは？とも思います。

今、差別や排除する理由をつくって人権を不当に叩く行為が横行しています。表面に現れている現象だけにとらわれることなく、そこに隠れている背景もしっかりと見ながら物事を判断していく必要性を感じました。

黒子のバスケ脅迫事件
 2012年10月から発生した、漫画『黒子のバスケ』（集英社）の作者・藤卷忠俊氏や作品の関係先各所を標的とする一種の脅迫事件。



大山町みんなの人権セミナー

日時	場所	内容
8月26日(金) 19時～	保健福祉センター なわ	『一人芝居とお話し』 講師 かわよけ しずか 河除 静香さん
8月27日(土) 10時～ 13時30分～ (2回公演)	中山温泉 わくわく ホール	 講師 とがわ ひろこ 外川 浩子さん (8/27午後の部のみ)

※2日間で3回公演を行います。ご都合が良い時間にお出かけください。
 ※8月27日午後の公演は、会場入り口にパネル展示を行います。

【その他】

- ①小学校入学までを対象に託児を設置します。希望される場合は、開催日の4日前までにお子さんのお名前・年齢を添えて、人権推進室に申し込んでください。
- ②手話通訳を希望される場合は、開催日の14日前までに人権推進室に申し込んでください。
- ③この講座は、とっとり県民カレッジの連携講座です

申込み先 人権推進室 (人権交流センター内)
 ☎0859-54-2286
 FAX0859-54-2413

【主催】大山町、大山町教育委員会、
 大山町人権・同和教育推進協議会